

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和6年03月29日

オークマ健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	56469
組合名称	オークマ健康保険組合
形態	単一
業種	機械器具製造業

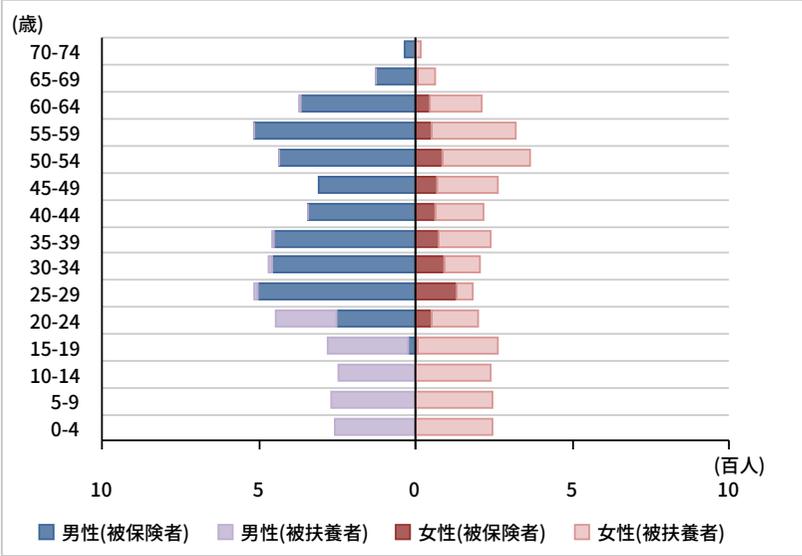
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	4,494名 男性84.9% (平均年齢43.3歳) * 女性15.1% (平均年齢39.9歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険者数	0名	-名	-名
加入者数	8,364名	-名	-名
適用事業所数	14カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点数	56カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	90.00%	-%	-%

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	2	4	-	-	-	-
	保健師等	4	0	-	-	-	-

		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体	2,903 / 3,527 = 82.3 %	
	被保険者	2,192 / 2,300 = 95.3 %	
	被扶養者	711 / 1,227 = 57.9 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体	94 / 531 = 17.7 %	
	被保険者	61 / 467 = 13.1 %	
	被扶養者	33 / 64 = 51.6 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	8,236	1,833	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	3,176	707	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	4,140	921	-	-	-	-
	疾病予防費	58,466	13,010	-	-	-	-
	体育奨励費	1,305	290	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	4,180	930	-	-	-	-
	小計 …a	79,503	17,691	0	-	0	-
経常支出合計 …b	2,948,997	656,208	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	2.70		-	-	-	-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	24人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	250人	25～29	505人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	457人	35～39	454人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	344人	45～49	310人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	436人	55～59	514人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	366人	65～69	123人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	32人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	7人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	54人	25～29	131人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	91人	35～39	75人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	62人	45～49	69人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	87人	55～59	49人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	46人	65～69	7人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	1人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	259人	5～9	270人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	247人	15～19	256人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	192人	25～29	14人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	9人	35～39	3人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	2人	45～49	0人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	2人	55～59	1人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	3人	65～69	1人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	248人	5～9	248人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	239人	15～19	257人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	150人	25～29	52人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	113人	35～39	164人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	155人	45～49	195人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	281人	55～59	268人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	165人	65～69	57人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	19人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

1. 中規模の健保組合（被保険者4.5千人、加入者8.4千人）で、被保険者における男性の割合が高い（男性85%女性15%）
2. 25～29歳、55～59歳に被保険者数の山がある
3. 当健保組合には、医療専門職が不在

STEP 1-2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

- 1.被扶養者の巡回健診の受診率は安定している
- 2.人間ドック、脳ドック、健康ウォーク、契約保養所施設の利用者が固定化
- 3.機関誌を自宅に持ち帰らない被保険者が多い

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	機関誌発行
--------	-------

個別の事業

特定健康診査事業	特定健康診査（被保険者）
特定健康診査事業	特定健康診査（被扶養者）
特定健康診査事業	共同巡回健診（特定健康診査事業）
特定健康診査事業	特定健診未受診者対策（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被保険者）
特定保健指導事業	巡回型保健指導（被扶養者）
保健指導宣伝	ホームページ
保健指導宣伝	医療費適正化対策
保健指導宣伝	育児専門誌配付
疾病予防	人間ドック
疾病予防	共同巡回健診
疾病予防	結果説明会
疾病予防	脳ドック
疾病予防	前立腺・胃・大腸・乳がん検診・子宮頸がん検診
疾病予防	インフルエンザ予防接種
疾病予防	健康相談
疾病予防	メンタルヘルス
疾病予防	幼児疾病予防（手あらい・うがいキャンペーン）
疾病予防	歯科予防健診
疾病予防	家庭常備薬の有償斡旋
体育奨励	健康ウォーク
体育奨励	宿泊旅行補助
体育奨励	施設利用補助
その他	提携ホテル

事業主の取組

1	産業医による保健指導
2	産業医による長時間労働者健診
3	メンタルヘルス

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2)評価	
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因		
職場環境の整備													
加入者への意識づけ													
保健指導宣伝	2	機関誌発行	・情報発信、健康意識の向上	全て	男女	18～74	-	--	-	-	-	-	
	個別の事業												
	特定健康診査事業	3	特定健康診査(被保険者)	・特定健康診査の受診率向上、加入者の健康維持	全て	男女	40～74	-	--	-	-	-	-
		3	特定健康診査(被扶養者)	・特定健康診査の受診率向上、加入者の健康維持	全て	男女	40～74	-	--	-	-	-	-
3		共同巡回健診(特定健康診査事業)	・特定健康診査の受診率向上、加入者の健康維持	全て	女性	40～70	-	--	-	-	-	-	
3,4		特定健診未受診者対策(被扶養者)	・特定保健指導の実施率向上、生活習慣病リスク保有者の生活習慣、健康状態の改善	全て	女性	16～74	-	--	-	-	-	-	
特定保健指導事業	4	特定保健指導(被保険者)	・特定保健指導の実施率向上、生活習慣病リスク保有者の生活習慣、健康状態の改善	全て	男女	40～74	-	--	-	-	-	-	
	4	巡回型保健指導(被扶養者)	・特定保健指導の実施率向上、生活習慣病リスク保有者の生活習慣、健康状態の改善	全て	女性	40～74	-	--	-	-	-	-	
保健指導宣伝	2	ホームページ	・情報発信、健康意識の向上、各種申請用紙のアウトプット	全て	男女	18～74	-	--	-	-	-	-	
	2	医療費適正化対策	・適正受診の促進と重複受診の防止	全て	男女	0～74	-	--	-	-	-	-	
	5	育児専門誌配付	・乳児の健康保持と対処法の紹介	全て	男女	18～60	-	--	-	-	-	-	
疾病予防	3	人間ドック	・疾病の早期発見、早期治療	全て	男女	35～74	-	--	-	-	-	-	
	3	共同巡回健診	・疾病の早期発見	全て	女性	16～70	-	--	-	-	-	-	

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	4	結果説明会	・生活習慣の改善、健康意識の向上	全て	女性	16～70	-	--				-
	3	脳ドック	・疾病の早期発見、早期治療	全て	男女	40～74	-	--				-
	3	前立腺・胃・大腸・乳がん検診・子宮頸がん検診	・がんの早期発見、早期治療	全て	男女	18～74	-	--				-
	3	インフルエンザ予防接種	・予防接種による重症化予防	全て	男女	0～74	-	--				-
	6	健康相談	・突発的な症状の際の対応の相談	全て	男女	0～74	-	--				-
	6	メンタルヘルス	・メンタルヘルスの改善	全て	男女	0～74	-	--				-
	5	幼児疾病予防(手洗い・うがいキャンペーン)	・幼児(2～6歳)のかぜ予防、歯科医療費の削減	全て	男女	2～6	-	--				-
	3	歯科予防健診	・歯科医療費の削減	全て	男女	0～74	-	--				-
	8	家庭常備薬の有償貸出	・常備薬の使用による医療費の削減	全て	男女	18～74	-	--				-
体育奨励	5	健康ウォーク	・体力づくり	全て	男女	0～74	-	--				-
	8	宿泊旅行補助	・心身の保養	全て	男女	0～74	-	--				-
	5	施設利用補助	・心身の保養と体力づくり	全て	男女	0～74	-	--				-
その他	5	提携ホテル	・心身の保養	全て	男女	0～74	-	--				-

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

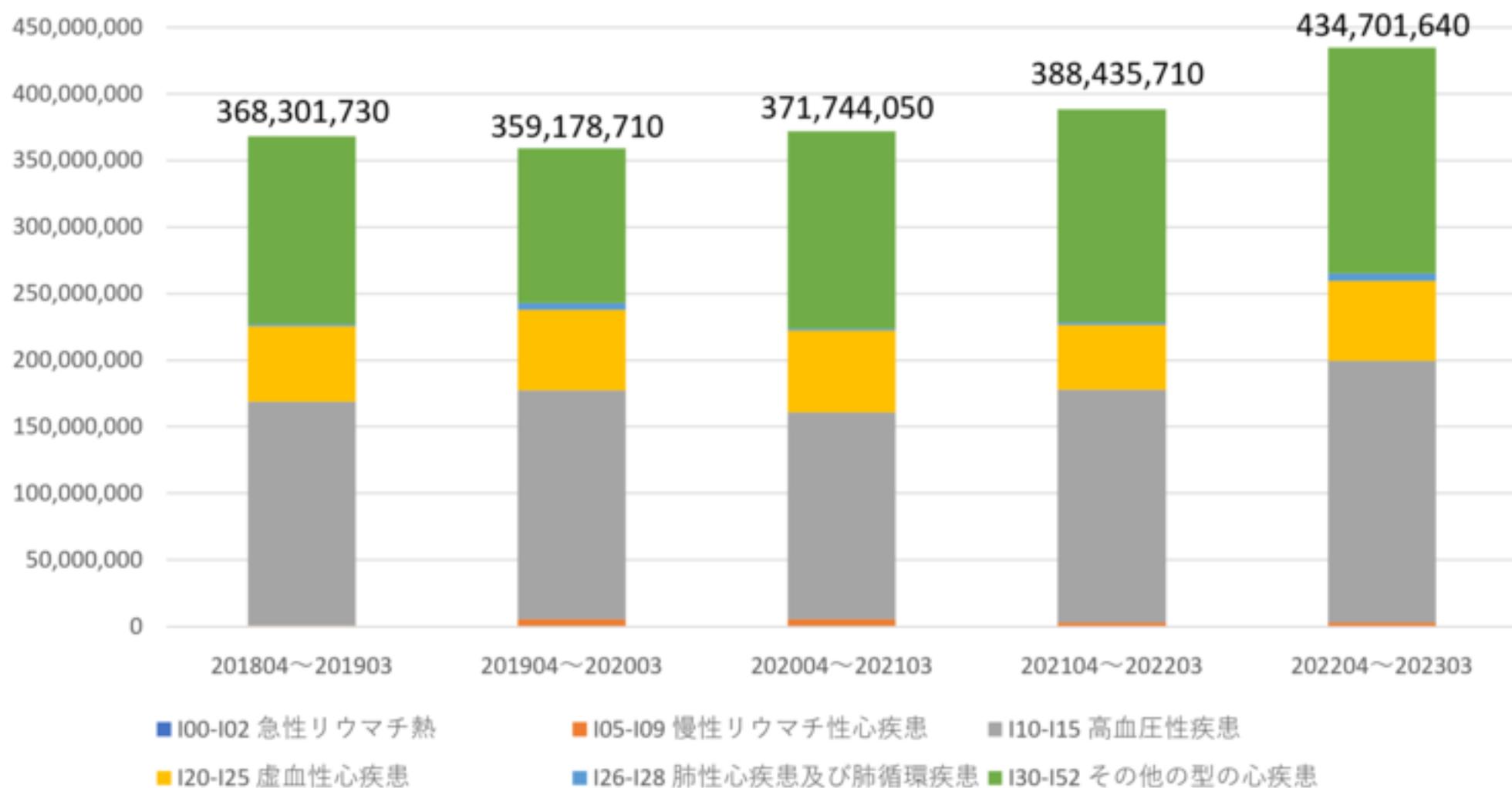
事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
産業医による保健指導	【目的】重症化予防（LDL、中性脂肪、血圧） 【概要】産業医による定期健診の有所見者の面談	被保険者	男女	18 ～ 74	・個別呼び出しによる面談（面談実施率90%）	・対象者への直接介入	・呼び出しに応じない対象者の指導	無
産業医による長時間労働者健診	【目的】長時間労働による疾病予防 【概要】産業医による面談	被保険者	男女	18 ～ 74	・個別呼び出しによる面談	・対象者への直接介入	・業務が集中する時期の対策	無
メンタルヘルス	【目的】メンタルヘルスの改善 【概要】外部専門業者によるEAPの実施	被保険者	男女	18 ～ 74	・外部相談窓口の設置 ・イントラに毎月メンタルに関する情報を投稿	・全員に相談窓口の案内カードを配付し、相談しやすくした	・会社に知られるかもしれないという猜疑心	無

STEP 1-3 基本分析

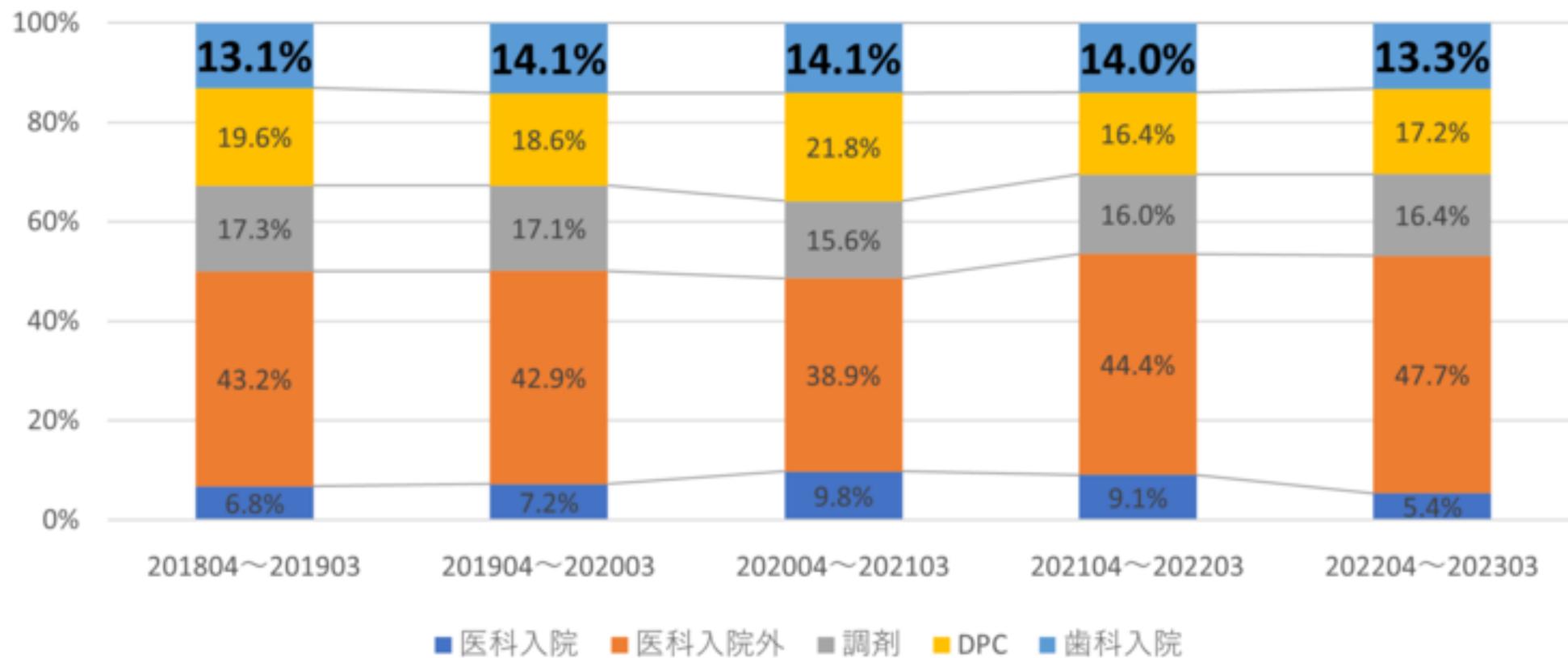
登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		心疾患医療費の推移（2018年度～2022年度）	医療費・患者数分析	心疾患医療費が年々増加傾向にある
イ		診療区分ごとの医療費構成割合（2018年度～2022年度）	医療費・患者数分析	歯科の医療費が総医療費の約14%を占めている
ウ		特定健診・特定保健指導の実施状況（2018年度～2022年度）	特定保健指導分析	特定保健指導の対象者率は2018年度と比較して減少しているが高い水準にある

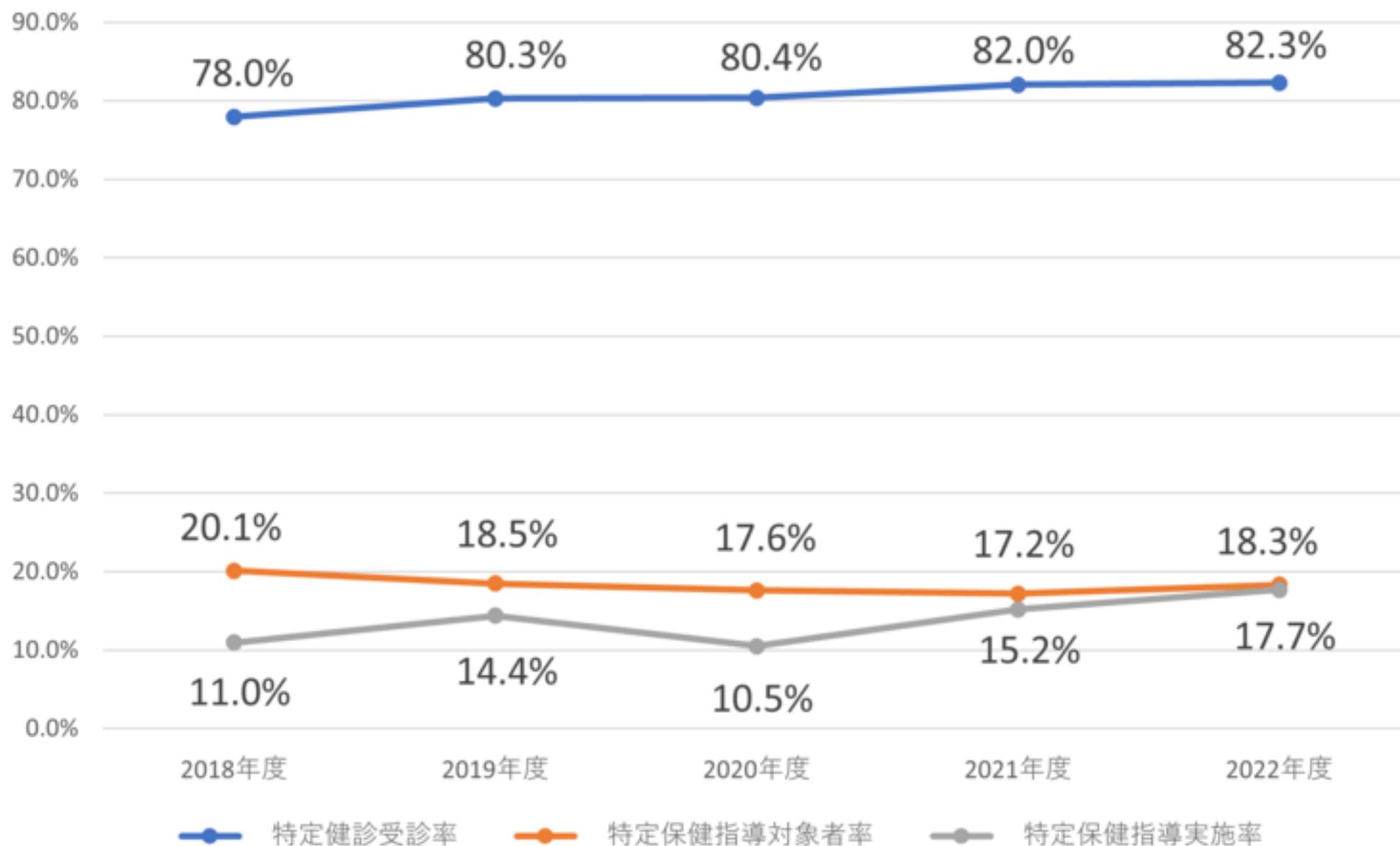
心疾患医療費の推移（2018年度～2022年度）



診療区分ごとの医療費構成割合（2018年度～2022年度）



特定健診・特定保健指導の実施状況（2018年度～2022年度）



STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア	心疾患医療費が年々増加傾向にある	➔	心臓ドックの利用補助をすることで、心疾患の予防と心疾患に関する啓蒙につなげる	
2	イ	歯科の医療費が総医療費の約14%を占めている	➔	歯科医療費抑制のため無料歯科健診の利用促進を行う	
3	ウ	特定保健指導の対象者率は2018年度と比較して減少しているが高い水準にある	➔	特定保健指導の実施率の向上と、生活習慣改善に関する啓蒙活動を行う	✓

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> 加入者数は中規模であるが、事業主の拠点が全国に点在 20歳台前半から30歳代前半及び40歳代後半から50歳代前半に、被保険者構成が偏っている 健保組合には医療専門職が不在 	➔	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の拠点が全国に点在しており、健保組合には医療専門職が不在であることから事業主の協働（コラボヘルス）が重要 加入員構成を考え、ボリュームゾーンである40歳代後半から50歳代前半の加入者対策が重要 予防医学的な知識・経験が必要な場面では、事業主の専門職もしくは委託事業者の活用を検討

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	特定保健指導の実施率が低い	➔	従来とは異なる特定保健指導プログラムの導入や、実施率向上につながる効果的な周知方法を検討
2	歯科に関する事業が不十分である	➔	歯科健診事業の充実を検討
3	心疾患の予防に関する事業を行っていない	➔	心疾患の予防に関する事業を検討

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

生活習慣病のリスク者で通院歴がない「不健康な生活」「患者予備軍」区分の人数の減少を優先し、一人当たりの医療費を低減させることを目的とする。
そのため特定保健指導の実施率の向上を目指す

事業全体の目標

「不健康な生活」「患者予備軍」の区分の方を中心に、特定保健指導の実施率を向上させる

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	機関誌発行
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査（被保険者）
特定健康診査事業	特定健康診査（被扶養者）
特定健康診査事業	共同巡回健診（特定健康診査事業）
特定健康診査事業	特定健診未受診者対策（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被保険者）
特定保健指導事業	巡回型保健指導（被扶養者）
保健指導宣伝	ホームページ
保健指導宣伝	健保公式LINE運用
保健指導宣伝	医療費適正化対策
保健指導宣伝	育児専門誌配付
疾病予防	共同巡回健診
疾病予防	結果説明会
疾病予防	人間ドック
疾病予防	脳ドック
疾病予防	心臓ドック
疾病予防	糖尿病重症化予防
疾病予防	前立腺・胃・大腸・乳がん検診・子宮頸がん検診
疾病予防	インフルエンザ予防接種
疾病予防	幼児疾病予防（手あらい・うがいキャンペーン）
疾病予防	歯科予防健診
疾病予防	健康相談
疾病予防	メンタルヘルス
疾病予防	家庭常備薬の有償斡旋
体育奨励	健康ウォーク
体育奨励	宿泊旅行補助
体育奨励	施設利用補助
その他	提携ホテル

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
職場環境の整備																				
加入者への意識づけ																				
保健指導宣伝	2	既存	機関誌発行	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ス	・健保組合の内作による機関誌発行(収支・事業報告・健康に関する情報提供など)	シ	-	262	-	-	-	-	-	・情報発信、健康意識の向上	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
													・「健保ニュース」を年10回程度発行 ・健保内で原稿を作成し、より身近に感じるように工夫する ・プロモーションの効果を最大化するために、紙面の内容を工夫する	・「健保ニュース」を年10回程度発行 ・健保内で原稿を作成し、より身近に感じるように工夫する ・プロモーションの効果を最大化するために、紙面の内容を工夫する	・「健保ニュース」を年10回程度発行 ・健保内で原稿を作成し、より身近に感じるように工夫する ・プロモーションの効果を最大化するために、紙面の内容を工夫する	・「健保ニュース」を年10回程度発行 ・健保内で原稿を作成し、より身近に感じるように工夫する ・プロモーションの効果を最大化するために、紙面の内容を工夫する	・「健保ニュース」を年10回程度発行 ・健保内で原稿を作成し、より身近に感じるように工夫する ・プロモーションの効果を最大化するために、紙面の内容を工夫する	・「健保ニュース」を年10回程度発行 ・健保内で原稿を作成し、より身近に感じるように工夫する ・プロモーションの効果を最大化するために、紙面の内容を工夫する		
発行回数【実績値】12回 【目標値】令和6年度：8回 令和7年度：8回 令和8年度：9回 令和9年度：9回 令和10年度：10回 令和11年度：10回・「健保ニュース」を年10回程度発行												-					(アウトカムは設定されていません)			
個別の事業																				
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健康診査(被保険者)	全て	男女	40～74	被保険者	1	ス	①事業主が行う定期健診 ②人間ドック	シ	-	262	-	-	-	-	-	・特定健康診査の受診率向上、加入者の健康維持	特定保健指導の対象者率は2018年度と比較して減少しているが高い水準にある
													・健診受診の重要性を訴求するプロモーション活動を実施(健保ニュース)	・健診受診の重要性を訴求するプロモーション活動を実施(健保ニュース)	・健診受診の重要性を訴求するプロモーション活動を実施(健保ニュース)	・健診受診の重要性を訴求するプロモーション活動を実施(健保ニュース)	・健診受診の重要性を訴求するプロモーション活動を実施(健保ニュース)	・健診受診の重要性を訴求するプロモーション活動を実施(健保ニュース)		
受診率【実績値】95.3% 【目標値】令和6年度：95% 令和7年度：96% 令和8年度：97% 令和9年度：97% 令和10年度：97% 令和11年度：97%・健診実施の促進(受診率97%以上)												特定健康診査受診率【実績値】0.01%向上 【目標値】令和6年度：2%向上 令和7年度：2%向上 令和8年度：2%向上 令和9年度：2%向上 令和10年度：2%向上 令和11年度：2%向上)・特定健康診査の受診率の向上(前年比2%向上)								
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健康診査(被扶養者)	全て	男女	40～74	被扶養者	1	ケ	①受診券発行による集合契約の健診 ②人間ドック ③巡回健診 ④未受診者に受診督促通知送付	エ	-	3,595	-	-	-	-	-	・特定健康診査の受診率向上、加入者の健康維持	特定保健指導の対象者率は2018年度と比較して減少しているが高い水準にある
													・婦人科健診と同時実施している巡回健診を実施 ・業者の実施するヘルスケアポイントを活用 ・受診督促通知の実施	・婦人科健診と同時実施している巡回健診を実施 ・業者の実施するヘルスケアポイントを活用 ・受診督促通知の実施	・婦人科健診と同時実施している巡回健診を実施 ・業者の実施するヘルスケアポイントを活用 ・受診督促通知の実施	・婦人科健診と同時実施している巡回健診を実施 ・業者の実施するヘルスケアポイントを活用 ・受診督促通知の実施	・婦人科健診と同時実施している巡回健診を実施 ・業者の実施するヘルスケアポイントを活用 ・受診督促通知の実施	・婦人科健診と同時実施している巡回健診を実施 ・業者の実施するヘルスケアポイントを活用 ・受診督促通知の実施		
受診率【実績値】57.9% 【目標値】令和6年度：60% 令和7年度：60% 令和8年度：60% 令和9年度：60% 令和10年度：65% 令和11年度：68%・巡回健診受診の促進(受診率68%)												特定健康診査受診率【実績値】0%向上 【目標値】令和6年度：2%向上 令和7年度：2%向上 令和8年度：2%向上 令和9年度：2%向上 令和10年度：2%向上 令和11年度：2%向上)・特定健康診査の受診率の向上(前年比2%向上)								
特定健康診査事業	3	既存	共同巡回健診(特定健康診査事業)	全て	女性	40～70	被扶養者	1	ア,ケ	・他健保組合と共同で行う利便性の高い巡回健診(一部自己負担で受診)	エ	-	3,595	-	-	-	-	-	・特定健康診査の受診率向上、加入者の健康維持	特定保健指導の対象者率は2018年度と比較して減少しているが高い水準にある
													・中部地区を中心とした巡回健診と全国巡回健診を実施	・中部地区を中心とした巡回健診と全国巡回健診を実施	・中部地区を中心とした巡回健診と全国巡回健診を実施	・中部地区を中心とした巡回健診と全国巡回健診を実施	・中部地区を中心とした巡回健診と全国巡回健診を実施	・中部地区を中心とした巡回健診と全国巡回健診を実施		
受診率【実績値】57.9% 【目標値】令和6年度：60% 令和7年度：61% 令和8年度：62% 令和9年度：63% 令和10年度：64% 令和11年度：65%・巡回型健診受診率(65%)												巡回型健診受診率【実績値】0%向上 【目標値】令和6年度：2%向上 令和7年度：2%向上 令和8年度：2%向上 令和9年度：2%向上 令和10年度：2%向上 令和11年度：2%向上)・巡回型健診受診率の向上(前年比2%向上)								
特定健康診査事業	-	新規	特定健診未受診者対策(被扶養者)	全て	女性	16～74	被扶養者	1	-	・前年の共同巡回健診未受診者のうち希望者に対して簡易血液検査によるメタボ検査キットを送付	-	-	0	0	-	-	-	-	・特定保健指導の実施率向上、生活習慣病リスク保有者の生活習慣、健康状態の改善	
													簡易血液検査受診者数【実績値】- 【目標値】令和6年度：-人 令和7年度：-人 令和8年度：-人 令和9年度：-人 令和10年度：-人 令和11年度：-人)・簡易血液検査受診者数(受診者数30人)							
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導(被保険者)	全て	男女	40～74	被保険者	1	ク,ケ	・メタボリックシンドロームの減少を目的に保健指導を実施 ・1人あたり医療費の高い事業所やモチベーションの高い加入者から優先的に実施	ア,イ,コ	-	2,690	-	-	-	-	-	・特定保健指導の実施率向上、生活習慣病リスク保有者の生活習慣、健康状態の改善	歯科の医療費が総医療費の約14%を占めている
													・1人あたり医療費の高い事業所を選別し、中でも改善意思のある者の優先度を高くする	・1人あたり医療費の高い事業所を選別し、中でも改善意思のある者の優先度を高くする	・1人あたり医療費の高い事業所を選別し、中でも改善意思のある者の優先度を高くする	・1人あたり医療費の高い事業所を選別し、中でも改善意思のある者の優先度を高くする	・1人あたり医療費の高い事業所を選別し、中でも改善意思のある者の優先度を高くする	・1人あたり医療費の高い事業所を選別し、中でも改善意思のある者の優先度を高くする		
実施人数【実績値】61人 【目標値】令和6年度：75人 令和7年度：85人 令和8年度：100人 令和9年度：150人 令和10年度：200人 令和11年度：308人)・実施の促進(実施人数308人)												特定保健指導該当率【実績値】21.3%未満 【目標値】令和6年度：20.5%未満 令和7年度：20%未満 令和8年度：19.5%未満 令和9年度：19%未満 令和10年度：18.5%未満 令和11年度：18%未満)・実施者の健康改善(特定保健指導の該当率18%未満)								
特定保健指導事業	4	既存	巡回型保健指導(被扶養者)	全て	女性	40～74	被扶養者	1	ク,ケ	・メタボリックシンドロームの減少を目的に保健指導を実施 ・利便性の高い巡回型の保健指導を導入し、参加機会を増加	ケ	-	487	-	-	-	-	-	・特定保健指導の実施率向上、生活習慣病リスク保有者の生活習慣、健康状態の改善	特定保健指導の対象者率は2018年度と比較して減少しているが高い水準にある
													・巡回型の健診から一連の流れで実施 ・対象者へ個別案内発送	・巡回型の健診から一連の流れで実施 ・対象者へ個別案内発送	・巡回型の健診から一連の流れで実施 ・対象者へ個別案内発送	・巡回型の健診から一連の流れで実施 ・対象者へ個別案内発送	・巡回型の健診から一連の流れで実施 ・対象者へ個別案内発送	・巡回型の健診から一連の流れで実施 ・対象者へ個別案内発送		
実施人数【実績値】33人 【目標値】令和6年度：25人 令和7年度：25人 令和8年度：25人 令和9年度：25人 令和10年度：30人 令和11年度：30人)・実施の促進(実施人数30人)												特定保健指導該当率【実績値】9.0%未満 【目標値】令和6年度：7.5%未満 令和7年度：7%未満 令和8年度：6.5%未満 令和9年度：6%未満 令和10年度：5.5%未満 令和11年度：5%未満)・実施者の健康改善(特定保健指導の該当率5%未満)								

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連							
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画														
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度									
アウトプット指標												アウトカム指標															
保健指導宣伝	2	既存	ホームページ	全て	男女	18～74	加入者全員	1	工	・ホームページによるタイムリーな健保情報の提供	シ	-	431	-	-	-	-	-	・健保手続等の説明、各種情報提供実施	・健保手続等の説明、各種情報提供実施	・健保手続等の説明、各種情報提供実施	・健保手続等の説明、各種情報提供実施	・健保手続等の説明、各種情報提供実施	・健保手続等の説明、各種情報提供実施	・情報発信、健康意識の向上、各種申請用紙のアウトプット	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
	法規変更等掲載率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)・法規変更等掲載率(100%)												(アウトカムは設定されていません)														
	5	新規	健保公式LINE運用	全て	男女	0～74	加入者全員	1	工	健保公式LINEを用いた各種保健事業の周知および加入者の健康リテラシーの向上	シ	-	1,045	-	-	-	-	-	健保公式LINEを用いた各種保健事業の周知および加入者の健康リテラシーの向上	健保公式LINEを用いた各種保健事業の周知および加入者の健康リテラシーの向上	健保公式LINEを用いた各種保健事業の周知および加入者の健康リテラシーの向上	健保公式LINEを用いた各種保健事業の周知および加入者の健康リテラシーの向上	健保公式LINEを用いた各種保健事業の周知および加入者の健康リテラシーの向上	健保公式LINEを用いた各種保健事業の周知および加入者の健康リテラシーの向上	健保公式LINEを用いた各種保健事業の周知および加入者の健康リテラシーの向上	健保公式LINEを用いた各種保健事業の周知および加入者の健康リテラシーの向上	該当なし
	登録者(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：30% 令和7年度：40% 令和8年度：50% 令和9年度：60% 令和10年度：60% 令和11年度：60%)被保険者に対するLINE登録者60%																										
疾病予防	2	既存	医療費適正化対策	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	①医療費通知(3ヶ月毎) ②海外療養費対象のレセプト点検(随時) ③柔道整復師等の受診照会(随時)	シ	-	990	-	-	-	-	-	・3ヶ月ごとに全ての加入者の医療費を被保険者に通知 ・ジェネリック差額通知の検討	・3ヶ月ごとに全ての加入者の医療費を被保険者に通知 ・ジェネリック差額通知の検討	・3ヶ月ごとに全ての加入者の医療費を被保険者に通知 ・ジェネリック差額通知の検討	・3ヶ月ごとに全ての加入者の医療費を被保険者に通知 ・ジェネリック差額通知の検討	・3ヶ月ごとに全ての加入者の医療費を被保険者に通知 ・ジェネリック差額通知の検討	・3ヶ月ごとに全ての加入者の医療費を被保険者に通知 ・ジェネリック差額通知の検討	・適正受診の促進と重複受診の防止	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
	医療費通知配付率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)・すべての対象者への医療費通知の配付(100%)												(アウトカムは設定されていません)														
	5	既存	育児専門誌配付	全て	男女	18～60	基準該当者	1	ス	・分娩者家庭に育児専門誌を1年間無料配付	シ	-	180	-	-	-	-	-	・育児専門誌を1年間無料で分娩家庭へ郵送	・育児専門誌を1年間無料で分娩家庭へ郵送	・育児専門誌を1年間無料で分娩家庭へ郵送	・育児専門誌を1年間無料で分娩家庭へ郵送	・育児専門誌を1年間無料で分娩家庭へ郵送	・育児専門誌を1年間無料で分娩家庭へ郵送	・育児専門誌を1年間無料で分娩家庭へ郵送	・乳児の健康保持と対処法の紹介	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	配付率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)・育児専門誌の配付(100%)												-(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：0- 令和7年度：0- 令和8年度：0- 令和9年度：0- 令和10年度：0- 令和11年度：0-)・乳幼児の医療費の減少 ・育児の不安解消														
疾病予防	3	既存	共同巡回健診	全て	女性	16～70	被扶養者	1	ス	・他健保組合と共同で行う利便性の高い巡回健診(一部自己負担で受診)	シ	-	17,675	-	-	-	-	-	・中部地区を中心とした巡回健診と全国巡回健診を実施	・中部地区を中心とした巡回健診と全国巡回健診を実施	・中部地区を中心とした巡回健診と全国巡回健診を実施	・中部地区を中心とした巡回健診と全国巡回健診を実施	・中部地区を中心とした巡回健診と全国巡回健診を実施	・中部地区を中心とした巡回健診と全国巡回健診を実施	・中部地区を中心とした巡回健診と全国巡回健診を実施	・疾病の早期発見	特定保健指導の対象者率は2018年度と比較して減少しているが高い水準にある
	受診率(【実績値】48.1% 【目標値】令和6年度：50% 令和7年度：52% 令和8年度：55% 令和9年度：60% 令和10年度：65% 令和11年度：70%)・受診率(70%)												特定保健指導受診率(全体)(【実績値】0%向上 【目標値】令和6年度：2%向上 令和7年度：2%向上 令和8年度：2%向上 令和9年度：2%向上 令和10年度：2%向上 令和11年度：2%向上)・巡回健診受診率の向上(前年比2%向上)														
	4	既存	結果説明会	全て	女性	16～70	被扶養者	1	イ,オ	・巡回健診受診者に対し、保健師による健診結果説明及び管理栄養士、運動指導士による情報提供を実施	工	-	-	-	-	-	-	-	・巡回型の健診から一連の流れで実施 ・会場にて肌年齢測定を実施	・巡回型の健診から一連の流れで実施 ・会場にて肌年齢測定を実施	・巡回型の健診から一連の流れで実施 ・会場にて肌年齢測定を実施	・巡回型の健診から一連の流れで実施 ・会場にて肌年齢測定を実施	・巡回型の健診から一連の流れで実施 ・会場にて肌年齢測定を実施	・巡回型の健診から一連の流れで実施 ・会場にて肌年齢測定を実施	・巡回型の健診から一連の流れで実施 ・会場にて肌年齢測定を実施	・生活習慣の改善、健康意識の向上	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	参加率(【実績値】35% 【目標値】令和6年度：40% 令和7年度：42% 令和8年度：44% 令和9年度：46% 令和10年度：48% 令和11年度：50%)・参加促進(参加率50%)												特定保健指導該当率(【実績値】9%未満 【目標値】令和6年度：7.5%未満 令和7年度：7%未満 令和8年度：6.5%未満 令和9年度：6%未満 令和10年度：5.5%未満 令和11年度：5%未満)・実施者の健康改善(特定保健指導の該当率5%未満)														
疾病予防	3	既存	人間ドック	全て	男女	35～74	基準該当者	1	ウ	・費用を一部自己負担し、提携医療機関で受診(3キ5歳以上)	シ	-	13,500	-	-	-	-	-	・費用を一部自己負担し、提携医療機関で受診	・費用を一部自己負担し、提携医療機関で受診	・費用を一部自己負担し、提携医療機関で受診	・費用を一部自己負担し、提携医療機関で受診	・費用を一部自己負担し、提携医療機関で受診	・費用を一部自己負担し、提携医療機関で受診	・費用を一部自己負担し、提携医療機関で受診	・疾病の早期発見、早期治療	特定保健指導の対象者率は2018年度と比較して減少しているが高い水準にある
	被保険者受診者数(【実績値】345人 【目標値】令和6年度：345人 令和7年度：350人 令和8年度：355人 令和9年度：360人 令和10年度：360人 令和11年度：360人)被保険者受診者数(360人)												特定健診受診率(全体)(【実績値】82.3% 【目標値】令和6年度：85% 令和7年度：86% 令和8年度：87% 令和9年度：88% 令和10年度：89% 令和11年度：90%)・特定健診受診率(全体で90%以上)														
	被扶養者受診者数(【実績値】55人 【目標値】令和6年度：75人 令和7年度：70人 令和8年度：70人 令和9年度：70人 令和10年度：70人 令和11年度：75人)被扶養者受診者数(75人)																										
	3	既存	脳ドック	全て	男女	40～74	被保険者、被扶養者、任意継続者	1	ス	費用を一部自己負担し、提携医療機関で受診(40歳以上・1年に1回まで)	シ	-	4,560	-	-	-	-	-	-	・費用を一部自己負担し、提携医療機関で受診(1年に1回受診可)	・費用を一部自己負担し、提携医療機関で受診(1年に1回受診可)	・費用を一部自己負担し、提携医療機関で受診(1年に1回受診可)	・費用を一部自己負担し、提携医療機関で受診(1年に1回受診可)	・費用を一部自己負担し、提携医療機関で受診(1年に1回受診可)	・費用を一部自己負担し、提携医療機関で受診(1年に1回受診可)	・費用を一部自己負担し、提携医療機関で受診(1年に1回受診可)	・疾病の早期発見、早期治療
受診者数(【実績値】100人 【目標値】令和6年度：120人 令和7年度：125人 令和8年度：130人 令和9年度：135人 令和10年度：140人 令和11年度：140人)・脳ドック受診者数(140人)												-(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：0- 令和7年度：0- 令和8年度：0- 令和9年度：0- 令和10年度：0- 令和11年度：0-)・要検討者の発見															
												2,500															

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
3	新規	心臓ドック	全て	男女	40～74	被保険者、被扶養者、任意継続者	1	ス	費用を一部自己負担し、提携医療機関で受診（40歳以上・1年に1回まで）	シ	-		・費用を一部自己負担し、提携医療機関で受診（1年に1回受診可）	・費用を一部自己負担し、提携医療機関で受診（1年に1回受診可）	・費用を一部自己負担し、提携医療機関で受診（1年に1回受診可）	・費用を一部自己負担し、提携医療機関で受診（1年に1回受診可）	・費用を一部自己負担し、提携医療機関で受診（1年に1回受診可）	・費用を一部自己負担し、提携医療機関で受診（1年に1回受診可）	・疾病の早期発見、早期治療	心疾患医療費が年々増加傾向にある
受診者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50人 令和7年度：50人 令和8年度：50人 令和9年度：50人 令和10年度：50人 令和11年度：50人)・心臓ドック受診者数 (50人)												-(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0- 令和7年度：0- 令和8年度：0- 令和9年度：0- 令和10年度：0- 令和11年度：0-)・要検討者の発見								
3	新規	糖尿病重症化予防	全て	男女	18～74	被保険者、被扶養者、任意継続者	1	ス	・2型糖尿病患者で希望者に対し、糖尿病専門医による生活習慣改善プログラムを提供	シ	-		・2型糖尿病患者で希望者に対し、糖尿病専門医による生活習慣改善プログラムを提供	・2型糖尿病患者で希望者に対し、糖尿病専門医による生活習慣改善プログラムを提供	・2型糖尿病患者で希望者に対し、糖尿病専門医による生活習慣改善プログラムを提供	・2型糖尿病患者で希望者に対し、糖尿病専門医による生活習慣改善プログラムを提供	・2型糖尿病患者で希望者に対し、糖尿病専門医による生活習慣改善プログラムを提供	・2型糖尿病患者で希望者に対し、糖尿病専門医による生活習慣改善プログラムを提供	糖尿病罹患者の透析レベルの回避	特定保健指導の対象者率は2018年度と比較して減少しているが高い水準にある
受診者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：10人 令和7年度：11人 令和8年度：12人 令和9年度：13人 令和10年度：14人 令和11年度：15人)・糖尿病重症化予防プログラム受診者数 (15人)												-(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0- 令和7年度：0- 令和8年度：0- 令和9年度：0- 令和10年度：0- 令和11年度：0-)								
3	既存	前立腺・胃・大腸・乳がん検診・子宮頸がん検診	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ス	・費用の一部補助。最適な健診項目について検討。事業主の定期健診で実施した場合に事業主に費用の一部を補助。人間ドックのオプション検査で受診した場合に費用の一部を補助。	シ	-		・費用の一部補助を実施 ・他のがん検診に対しての補助検討	・費用の一部補助を実施 ・他のがん検診に対しての補助検討	・費用の一部補助を実施 ・他のがん検診に対しての補助検討	・費用の一部補助を実施 ・他のがん検診に対しての補助検討	・費用の一部補助を実施 ・他のがん検診に対しての補助検討	・費用の一部補助を実施 ・他のがん検診に対しての補助検討	・がんの早期発見、早期治療	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
健診受診勧奨施策実施率(【実績値】 100- 【目標値】 令和6年度：100- 令和7年度：100- 令和8年度：100- 令和9年度：100- 令和10年度：100- 令和11年度：100-)健保ニュースでの告知 (100%)												-(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0- 令和7年度：0- 令和8年度：0- 令和9年度：0- 令和10年度：0- 令和11年度：0-)・要検討者の発見								
3	既存	インフルエンザ予防接種	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	・インフルエンザ予防接種費用を一部補助	シ	-		・インフルエンザ予防接種費用を一部補助	・インフルエンザ予防接種費用を一部補助	・インフルエンザ予防接種費用を一部補助	・インフルエンザ予防接種費用を一部補助	・インフルエンザ予防接種費用を一部補助	・インフルエンザ予防接種費用を一部補助	・予防接種による重症化予防	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
予防接種者数(【実績値】 4,900人 【目標値】 令和6年度：5,000人 令和7年度：5,100人 令和8年度：5,200人 令和9年度：5,300人 令和10年度：5,400人 令和11年度：5,500人)・予防接種者数 (5,500人)												-(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0- 令和7年度：0- 令和8年度：0- 令和9年度：0- 令和10年度：0- 令和11年度：0-)・要検討者の発見								
5	既存	幼児疾病予防（手あらい・うがいキャンペーン）	全て	男女	2～6	被扶養者	1	ア	・手洗い、うがい、歯みがきの励行（幼児疾病予防（手あらい・うがいキャンペーン））	シ	-		・歯磨きとうがいを習慣づけるキャンペーンの開催	・歯磨きとうがいを習慣づけるキャンペーンの開催	・歯磨きとうがいを習慣づけるキャンペーンの開催	・歯磨きとうがいを習慣づけるキャンペーンの開催	・歯磨きとうがいを習慣づけるキャンペーンの開催	・歯磨きとうがいを習慣づけるキャンペーンの開催	・幼児（2～6歳）のかぜ予防、歯科医療費の削減	歯科の医療費が総医療費の約14%を占めている
キャンペーン達成率(【実績値】 79.4% 【目標値】 令和6年度：69% 令和7年度：69% 令和8年度：69% 令和9年度：70% 令和10年度：70% 令和11年度：70%)・キャンペーン達成率 (70%)												キャンペーン参加率(【実績値】 17.0% 【目標値】 令和6年度：20% 令和7年度：25% 令和8年度：30% 令和9年度：35% 令和10年度：40% 令和11年度：40%)・キャンペーン参加率 (40%)								
3	既存	歯科予防健診	全て	男女	0～74	被保険者、被扶養者、任意継続者	1	ス	①愛知、岐阜、三重、静岡の歯科医師会と提携し無料歯科予防健診実施 ・全国の歯科医院で無料歯科予防健診実施 ・ファミリー歯科健診実施 ②定期歯科健診 ③他地域の歯科医師会との提携検討	シ	-		・愛知、岐阜、三重、静岡の歯科医師会と提携し無料歯科予防健診実施 ・全国の歯科医院で無料歯科予防健診実施 ・ファミリー歯科健診実施 ・定期歯科健診実施 ・他地域の歯科医師会との提携検討	・愛知、岐阜、三重、静岡の歯科医師会と提携し無料歯科予防健診実施 ・全国の歯科医院で無料歯科予防健診実施 ・ファミリー歯科健診実施 ・定期歯科健診実施 ・他地域の歯科医師会との提携検討	・愛知、岐阜、三重、静岡の歯科医師会と提携し無料歯科予防健診実施 ・全国の歯科医院で無料歯科予防健診実施 ・ファミリー歯科健診実施 ・定期歯科健診実施 ・他地域の歯科医師会との提携検討	・愛知、岐阜、三重、静岡の歯科医師会と提携し無料歯科予防健診実施 ・全国の歯科医院で無料歯科予防健診実施 ・ファミリー歯科健診実施 ・定期歯科健診実施 ・他地域の歯科医師会との提携検討	・愛知、岐阜、三重、静岡の歯科医師会と提携し無料歯科予防健診実施 ・全国の歯科医院で無料歯科予防健診実施 ・ファミリー歯科健診実施 ・定期歯科健診実施 ・他地域の歯科医師会との提携検討	・愛知、岐阜、三重、静岡の歯科医師会と提携し無料歯科予防健診実施 ・全国の歯科医院で無料歯科予防健診実施 ・ファミリー歯科健診実施 ・定期歯科健診実施 ・他地域の歯科医師会との提携検討	・歯科医療費の削減	歯科の医療費が総医療費の約14%を占めている
歯科健診受診者数(【実績値】 150人 【目標値】 令和6年度：170人 令和7年度：175人 令和8年度：180人 令和9年度：185人 令和10年度：190人 令和11年度：200人)・歯科健診受診者数 (200人)												-(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0- 令和7年度：0- 令和8年度：0- 令和9年度：0- 令和10年度：0- 令和11年度：0-)・要検討者の発見								
6	既存	健康相談	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	・電話、WEBを使った24時間健康相談の実施	シ	-		・電話、WEBを使った24時間健康相談の実施	・電話、WEBを使った24時間健康相談の実施	・電話、WEBを使った24時間健康相談の実施	・電話、WEBを使った24時間健康相談の実施	・電話、WEBを使った24時間健康相談の実施	・電話、WEBを使った24時間健康相談の実施	・突発的な症状の際の対応の相談	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
健康相談勧奨施策実施率(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)・健康相談勧奨施策実施率 (健保ニュースでの告知実施)												-(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0- 令和7年度：0- 令和8年度：0- 令和9年度：0- 令和10年度：0- 令和11年度：0-)・要検討者の発見								
6	既存	メンタルヘルス	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	・電話及び面談による相談	シ	-		・メンタルヘルスに関する面談サービスの提供	・メンタルヘルスに関する面談サービスの提供	・メンタルヘルスに関する面談サービスの提供	・メンタルヘルスに関する面談サービスの提供	・メンタルヘルスに関する面談サービスの提供	・メンタルヘルスに関する面談サービスの提供	・メンタルヘルスの改善	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
メンタルヘルス相談勧奨施策実施率(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)・メンタルヘルス相談勧奨施策実施率 (健保ニュースでの告知実施)												-(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0- 令和7年度：0- 令和8年度：0- 令和9年度：0- 令和10年度：0- 令和11年度：0-)・要検討者の発見								

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連			
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画										
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度					
アウトプット指標												アウトカム指標											
	8	新規	家庭常備薬の有償斡旋	全て	男女	18～74	加入者全員	1	エ,ス	家庭常備薬の有償斡旋	シ	-	家庭常備薬の有償斡旋	・常備薬の使用による医療費の削減	該当なし								
申込率(【実績値】0.5% 【目標値】令和6年度：6% 令和7年度：7% 令和8年度：7% 令和9年度：8% 令和10年度：9% 令和11年度：10%)申込率 (10%)												(アウトカムは設定されていません)											
体育奨励	5	既存	健康ウォーク	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	・WEB版健康ウォーク参加補助 ・リアル版健康ウォーク参加補助	エ	-	・WEB版健康ウォーク参加補助 ・リアル版健康ウォーク参加補助	・体力づくり	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)								
	参加人数(【実績値】510人 【目標値】令和6年度：520人 令和7年度：540人 令和8年度：560人 令和9年度：580人 令和10年度：590人 令和11年度：600人)・参加人数 600人以上												(アウトカムは設定されていません)										
	675												-										
	8	既存	宿泊旅行補助	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	・年間1泊の宿泊旅行補助	シ	-	・年間1泊の宿泊旅行補助	・心身の保養	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)								
利用人数(【実績値】400人 【目標値】令和6年度：420人 令和7年度：450人 令和8年度：500人 令和9年度：525人 令和10年度：550人 令和11年度：600人)・利用人数 (600人)												(アウトカムは設定されていません)											
630												-											
	-	既存	施設利用補助	全て	男女	0～74	加入者全員	1	-	①長島プールの利用補助 ②長島温泉の利用補助	-	-	-	195	165	-	-	-	-	-	-	・心身の保養と体力づくり	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
	利用人数(【実績値】356人 【目標値】令和6年度：-人 令和7年度：-人 令和8年度：-人 令和9年度：-人 令和10年度：-人 令和11年度：-人)・利用人数 (500人)												(アウトカムは設定されていません)										
	210												-										
その他	5	既存	提携ホテル	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	エクシブとセラヴィリゾート泉郷の利用促進	シ	-	エクシブとセラヴィリゾート泉郷の利用促進	・心身の保養	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)								
	案内実施率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)・健保ニュースでの案内実施率 (100%)												(アウトカムは設定されていません)										
	4,180												-										

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ. その他